



留学生



ガイドブック

キャンパス内の
セクシャルハラスメント及び性暴力の予防と対策



教育部



韓国青少年政策研究院

キャンパス・ハラスメント性暴力撲滅支援中央センター



留学生



ガイドブック

キャンパス内でのセクシャルハラスメント及び性暴力の予防と対策

本資料は、大学内のセクシャルハラスメント及び性暴力の撲滅と、男女平等文化の造成をサポートするために、教育部が運営する「キャンパス・ハラスメント性暴力撲滅支援中央センター」事業の一環として、留学生の大学生活をサポートするために制作した資料です。

以前の資料を元に、より分かりやすい内容に再構成するとともに、新しい情報を追加しました。

本資料は、留学生のキャンパス内のセクシャルハラスメント及び性暴力を予防するための参考資料としてのみ活用し、個人の判断と行動に対する責任は本人にあることを明記しておきます。

発行日：2021年12月

発行機関：教育部, 韓国青少年政策研究院

(キャンパス・ハラスメント性暴力撲滅支援中央センター)



留学生



ガイドブック

キャンパス内でのセクシャルハラスメント及び性暴力の予防と対策

目次 CONTENTS

1章	歓迎のあいさつ	6
2章	キャンパス生活の安全	8
3章	親密な関係での安全	10
4章	恋人間の暴力	14
5章	ストーカー行為	15
6章	デジタル性犯罪	16
7章	サポートを受ける	18

1章

歓迎のあいさつ

ようこそ韓国へ！

韓国で新たに大学生活を始めることになった皆さんを歓迎します！

韓国に来られた皆さんは、文化や社会規範が韓国と似ている国から来られた人と韓国と大きく異なる国から来られた人がいるでしょう。交換留学生として1学期間の短期滞在する方や、新入生として入学し長期滞在する方、または大学院生や研究者として新たに始める方もいらっしゃるでしょう。

皆さんがいくら韓国文化に慣れているとしても、家族や友人と離れた遠い異国の地で生活することは簡単なことではありません。皆さんが韓国で楽しい時間を過ごされることを願うと同時に、思ってもみない状況に遭遇しないか、心配でもあります。

はじめに、韓国特に大学内でみなさんが遭遇する可能性のある性犯罪についてお話したいと思います。韓国政府、そして学校では、皆さんを性犯罪から守る準備ができています。韓国は、国民すべてが性犯罪に対する問題認識を強く持っています。性犯罪を軽く考えて行動した場合には、韓国の法律によって必ず処罰され、また通っている学校からも制裁を受ける可能性があることを覚えておいてください。

このガイドブックは、皆さんが留学生として韓国という国で、自由な権利を享受しながら生活する上で、必要な救急箱と考えてください。

韓国または大学における外国人留学生の地位

韓国で勉強する留学生は、留学ビザまたは一般研修ビザを取得しなければなりません。留学生として登録した学生は、以下のような韓国の法的地位が保障されます。

1 運転免許の取得

韓国に合法的に居住する外国人の場合、法的手続きに基づいて運転免許を取得することができ、学科試験時に韓国語、英語、中国語、ベトナム語の中から可能な言語を選んで試験を受けることができます。

2 国民健康保険

外国人留学生が韓国の病院で医療保険制度の医療サービスを受けるためには、「国民健康保険」に加入する必要があります。留学生の「国民健康保険」加入手続きと適用条件は、健康保険公団ホームページを参照するか、学校のサポートセンターなどにお問い合わせください。医療保険に加入している留学生は、韓国の病院で受診した際に医療保険が適用されます。

3 銀行業務

韓国の国内金融機関の規定に基づいて、留学生は様々な金融商品及びサービスを受けることができます。

4 アルバイト

韓国での外国人留学生のアルバイトは、資格条件に合う留学生のみ可能です。留学生がアルバイトをするには、学校の留学生担当者の確認が必要です。また、アルバイトは一定資格（言語など）の保有者に限定されています。

* 出処: 国立国際教育院 「外国人留学生ガイドブック」

2章

キャンパス生活の安全

大学内の性犯罪がだれにでも起こるということではありませんが、私たちの周囲で起こる可能性があります。大学では多様な構成員が交流しているため、性犯罪は、学生間、学生と助手、学生と教授、学生と教職員、教授間、教職員間に起こる可能性があります。

また、一部の人々が悪意をもって学校内外の関係を利用したり、自分の権力を悪用したりして性的に接近する場合があります。また、想像もしていなかった周囲の人々によって発生する場合があります。

この資料では、大学内で起こる性犯罪を、強制、脅迫、物理的強制力による性的行為、未遂に終わった性的行為、または望んでいない性的発言や接触と定義し、安全なキャンパス生活のために、実際にあった事例をご紹介します。

学校生活(授業)

授業時間や授業関連の学校生活（面談、学科の行事など）の中で、一部の学生、助手、教授、教職員が権力や地位を悪用して学生を脅したり、騙したりして性的関係などの性的接触を試みる場合があります。これは非常にごく少数の人々の間違った行動ですが、意外にも行動した本人が犯罪となることを知らなかったという場合もあります。



行為者 教授（助手、教職員）－ **被害者** 学生

授業中に授業と関係のない発言を多数の学生の前でしたり、指導を口実に身体部位を触るなど不必要な身体接触をする場合

- ・「君は整形(胸)手術してダイエットすれば彼氏ができるよ」
- ・実技授業中に「太ももを揉んでほしい」「後ろから抱きついてみる」
- ・「〇〇〇はセクシーな服を着ているね。夜の仕事にでもいくのかい？」
- ・「異性と交際するのは寝るためじゃないのか？」

不必要な私的な連絡及び就職や奨学金を口実に脅迫、就職関連の進路相談や授業・研究と関係のない日に学生を呼び出して学校外で私的に会うことを要求

- 「家に帰ってからも君のことを思い出す」「君と恋に落ちる想像をした」
- 「私とデートすれば私の授業でAもあげるし、推薦書も書いてあげよう」
- 「一緒に海に行こう」「モーテルに行ったことある？」「手をつないでみよう」



行為者 学生 - **被害者** 学生

学科のグルーptークやグループ別課題用のトークルームで、セクハラ発言や特定の身体部位に言及して外見を評価をする場合

- 「襲いたい」
- 「〇〇〇は△△△とどこまでしたの？」
- 「あの子はいい体してる。顔はあの子がかわいい」



セクシャルハラスメントも処罰されますか？

キャンパス内で起こる性犯罪の中でも、セクシャルハラスメントは、法律的に処罰対象になるのが難しい場合もあります。セクシャルハラスメントは、その行為の内容と行為が起こった特殊な状況、脈絡など、全体的に見る必要があります。被害者が不快感を感じたとしても、客観的に相手と同じ立場にいる一般人（第三者）も、セクシャルハラスメントと感じる状況でなければなりません。反対に、行為者の意図とは関係なく、該当行為が韓国において一般人（第三者）も不快感を感じる行動であれば処罰を受けることもあります。皆さんが通っている学校では、独自の規定に基づいて処罰することもあります。いつでもでも自分の行動に責任を負わなければならないことを必ず覚えてください。

3章

親密な関係での安全

親交活動、親睦の集まり

大学では、授業以外でも様々な人と出会う機会があります。学校の行事に参加したり、親睦のために集まったりもします。グループ課題など学習のために集まったり、親密な関係の発展のために食事してカフェに行ったり、ピクニックに行ったりもします。さらに親しくなれば、お互いの家に招待することもあります。

夜に行われる行事や集まりでは、飲酒の機会が増えます。集まる場所は飲食店かもしれませんが、自宅や親密な関係にある人の家かもしれません。



状況 スタディーグループ、サークル活動、友人との出会いなど

公共の場所で数人が集まって、他人に対して性的な冗談や性的に卑下することを言ったり、その内容が相手に不快感を与える場合は、問題になることがあります。

- ・ 飲食店やカフェで、韓国人 (特定の国家や人種) は、嫌だとあまり言わないからデート (またはワンナイト) を提案すればすぐについて来るなどと、性的対象化しながら表現
- ・ 飲酒中のゲームなどで無理な罰則 (強制的なキス、デート要請など) を強要
- ・ 隣席の異性に無理に相席を要求しながら不必要に身体接触



状況 自宅や友人宅への1:1や1:多数の招待など

望んでいない相手が、自分 (被害者) の家に遊びに来たいと何度も催促したり、招待していない相手が急に遊びに来ようとする場合、犯罪につながる可能性が高くなります。自分の空間もほかの人の空間も尊重されなければなりません。

- ・ 本人の家で複数の学生と一緒に課題や集まりをすると騙して、被害者を家に呼んで強制的に身体的接触を試みる場合

- お酒の席が長くなるから、被害者の家でもう一杯しようと言ったり、泊まって行くと言ったりして無理やり迫って性関係を試みる場合



状況 学科の集まりや歓迎会、学祭など

- 「女が注ぐ酒はうまい」と言いながら酒を注ぐことを強要
- だれとだれがお似合いだ、上手くやってみろ、二人は付き合っているんじゃないか、ラブショットしてみろ、くっついて座れなど、公開的な場所で望んでいない相手とカップルにしてスキンシップを強要
- カラオケでは一緒に踊るものだとして強制的に抱きついたり、隣の席で酒を飲みながら身体接触をする場合



こんな場合はどうすればいい？

親しさを主張しながら相手の同意なく行うすべての性的な行動は、物理的な証拠がなくともいつでも大学に届け出すことができます。確実な証拠を確保するのが難しくても、状況証拠（例：CCTV(防犯カメラ) 映像、証人、録音、状況を説明できる第三者など）を活用することができます。もし性暴力（例：性的暴行など）の被害者になったら、できるだけ早く警察に通報し、物理的な証拠を収集して適時に治療とサポートを受けましょう。警察に通報した後に学校の追加制裁を望む場合や、学校の保護を必要とする場合は、学校にも届け出すことができます。

特に酔った人とキスしたり、性的関係を結んだ場合、

- 1) 必ずしも性犯罪になるとは限りません。しかし、様々な状況証拠に基づいて、相手が酔いすぎて判断不可能な状態であった場合、その人は性的接触に同意できない状態であったと判断されます。同意なしに性的接触をしたり、拒否できない状態を悪用したりすることは、法的に性的暴行に該当することがあります。

2) 逆に、性犯罪者になることもあります。「酒に酔って失敗した」という言葉は、このような事件の言い訳にはなりません。性犯罪者はたとえ酒に酔った状態であったとしても、自分の行動に責任を負わなければなりません。また、被害者は「私が酔い過ぎたせいだ」とか「私がもっとしっかりしていれば」と自分のせいにしたりします。しかし、酒を飲んだという理由だけで、犯罪被害者になったことを当然だと考えてはいけません。



知りたい アルバイト時にセクシャルハラスメントが起こった場合

アルバイトは通常、学生が行う時間制就業（単純労務など）活動に限定された就業活動です。外国人留学生がアルバイトをする場合、労働が可能なビザを所持し、一定レベルの韓国語能力を保有していなければなりません。学校の承認が必要なため、在学中にアルバイトできるか必ず学校に確認してください。

アルバイトは雇用関係であるため、勤務先でセクシャルハラスメント及び、性的接触などの事案が発生した場合は、必ず警察または学校関連機関に通報して助けを受けましょう。韓国においてセクシャルハラスメント及び関連犯罪は、重大な犯罪行為であり、留学生も韓国人と同様に法的に保護あるいは処罰を受けます。

様々な理由で通報することをためらい、不利益を被らないか心配である場合は、まず学校担当者に相談してください。本ガイドブックの通報先を参照し、相談または通報することをお勧めします。

セクシャルハラスメント関連の通報は、被害を受けた当事者だけでなく、周囲の人々もできます。周りの人々に助けを求めてください。学校では留学生センターや相談センターにアドバイスを求めることができます。該当アルバイトが学校と連携している場合は、学校に届け出ることもできます。



知りたい 韓国の飲酒文化は本当にこんなのか？

韓国ではお酒を拒否することは無礼なことですか？

韓国では年長者や目上の人に勧められたお酒を拒否することは失礼だといわれることもあります。必ずしもそうではありません。ほとんどの韓国人は皆さんが個人的、医療的、宗教的理由によってお酒を飲まないことを理解してくれるでしょう。また、韓国の飲酒文化はお酒を好まない人や酔いたくない人のために、酒量を減らす流れに変わってきています。お酒を飲みたくない場合は、「飲みません」とはっきり言う必要があります。

先輩や教授にお酒を勧められたら飲まなければなりませんか？

韓国では儒教の伝統が社会と人間関係の要素として残っています。教授などの年長者に礼儀正しくすることも儒教文化の一部です。しかし、皆さんがお酒を飲みたくない場合、ほかの人がお酒を勧めるときには飲まないことを伝えれば大丈夫です。

韓国人は、皆さんがお酒を飲まないとしても、相手のグラスが空になると、お酒を注ぎ足すのが礼儀だと思っています。地位が高い人、または年長者が皆さんのグラスに注ごうとする時、グラスを両手で持って受け取る意志を表します。しかし、これは勧奨事項であって、必ずしなければならない規則ではありません。友人やインターネットから聞いたことにすべて従わなければならないという負担を感じる必要はありません。

学校行事後の打ち上げには参加しなければなりませんか？

何かの提案に対する拒否は、本人の選択と決定が最優先です。公式行事後に追加的な集まりを要求する人もいますが、すべて終わるまで残っていなければならないことはありません。拒否したい場合は「参加しません」と言うことができます。打ち上げには参加しても飲酒を望まない場合は、ほかの飲み物や水を飲むこともできます。皆さんのグラスが空になれば、まわりの人は注ぎ足さなければならないと思うかもしれないので、事前に飲まないことを伝えておけば大丈夫です。

4章

恋人間の暴力

恋人のような親密な間柄で起こる暴力を、デートDVと呼びます。交際中だけでなく、恋人関係が終わった後にも続く暴力も含まれます。言語的、身体的（物理的、性的）、心理・情緒的暴力など様々な形態で発生し、相手との距離が近い分解決が難しく、回復にも時間がかかります。デートDVは性別及び年齢に関係なく発生する暴力であり、韓国警察では家庭内暴力、児童虐待などと同様に凶悪事件として取締り及び保護措置を強化しています。

統制(兆候)

- ・ 私がだれと一緒にいるのかいつも確認し、スケジュールをすべてコントロールし、思い通りにしないと怒ります。
- ・ 服装が気に入らないと異常なまでに腹を立て、アルバイトもやめるように強要します。

※ 暴力的行為に発展する可能性があります。犯罪行為に続く場合、ためらわずに捜査機関に通報して助けを要請しましょう。

暴力(犯罪)

言語的、情緒的暴力

- ・ 腹が立つと急に悪口を言ったり、侮辱的なことを言って叫び、脅します。
- ・ 別れようと言ったのに、毎日脅迫メッセージを送り、家の前に来て脅します。

身体的暴力

- ・ 自分と意見が違うと、頬を殴ったり、髪をつかんだりします。
- ・ 食事中に口喧嘩が始まると皿を投げたり、食べ物をひっくり返します。

性暴力

- ・ 私の意志とは関係なく体を触り、スキンシップを強要します。
- ・ 知らない間に私の動画を撮影していることを知りましたが、消してほしいと言っても消してくれません。

5章

ストーカー行為

韓国では相手の意志に反して正当な理由なく接近したり、付きまったり、道を塞いだりする行為などによって相手に不安や恐怖心を起こすことをストーカー行為と定義し、厳格に処罰しています。ストーカー行為を続けたり、繰り返したりすると犯罪として処罰されます。また、このような行為をされた場合は、警察に通報して保護を受けることができます。

対象者 ストッキング対象である被害者及び同居人、家族を含む

行 為 相手の意志に反する以下の行為

- 接近行為及び道を塞ぐ行為
- 家やアルバイト先の近くで待ったり、見張る行為
- 電話やメッセージを送り続ける行為
- SNSにコメントを書き込むなどのオンライン接近行為
- 宅急便を送る、物を置くなどの行為
- 住居地や付近の物を壊す行為



ストーカー行為に対する対応及び処罰

相手を脅迫したり、住居地に無断侵入したりするなど、ストーカー行為に他の犯罪が結合している場合は、重ねて処罰を受けます。行為者の意図に関係なく、相手の意志が尊重されていない場合は、犯罪行為になります。逆に、継続的にストーカー行為の被害を受けているなら、ためらわずに捜査機関に通報しなければなりません。

国内法により、ストーカー犯罪を犯した人は3年以下の懲役または3千万ウォン以下の罰金に処せられ、凶器または危険物を所持し、それを利用してストーカー犯罪を犯した場合は、5年以下の懲役または5千万ウォン以下の罰金で厳しく処罰されます。外国人留学生在が韓国で犯罪を犯した場合も処罰を受けます。

捜査機関に通報するのが難しい内容は、学校に相談する方法もあります。受けられるサポートは学校の方針によって異なるため、在学中の学校の相談センター、人権センター（男女平等センター、セクシャルハラスメント性暴力通報センター）、留学生センターにお問い合わせください。

6章

デジタル性犯罪

だれでもスマートフォンを自由に使えるようになり、オンライン活動の比重が大きくなっています。大学でもオンライン授業をしたり、グループ課題のためにメッセージで会議をするなど、デジタル機器をたくさん活用します。授業だけでなく、友人間の親密な関係をさらに強めるために、グループトークやSNSで交流することもあります。

デジタル性犯罪はデジタル機器及び情報通信技術を媒介としてオン・オフライン上で発生する暴力行為です。被害者の生活にまで取り返しのつかない被害を与えるため、韓国政府のデジタル性犯罪処罰関連法は次第に強化されており、国民も行為者に対して断固とした処罰を要求しています。

携帯電話、コンピューター、インターネットなどデジタル技術を利用してほかの人の権利を侵害する行為は、すべてデジタル性犯罪に該当するということを知っておきましょう。

同意のない撮影

(状況) 女子トイレ内にカメラを設置して撮影したり、スマートフォンカメラで撮影、同意なく性行為場面を撮影、通行人の身体の一部を同意なく撮影

※ 不法撮影の被害を受けた場合、設置されたカメラの場合はカメラを証拠として提出したり、不法撮影行為者の顔、着衣及び携帯電話の機種などを覚えて通報することができます。

撮影物の流布及び再流布

性行為、裸などの性的な撮影物を同意なく流布、相手が自分で撮った撮影物を許可なく流布、性的な撮影物に他人の顔を合成して流布

※ 同意を受けていない性的な撮影物を流布／再流布したり、たとえ撮影は同意したとしてもその撮影物を相手の同意なしで流布する行為は犯罪です。

流布脅迫

別れようと言うと性行為の撮影物を流布すると脅迫、要求を聞かなければ身体を撮った写真をSNSに載せると脅迫



こんなケースも犯罪です

撮影に同意していない性的な撮影物を視聴・共有・保存する行為も犯罪です。流通して消費することも、デジタル性犯罪撮影物の流布に荷担する行為であり、脅迫行為です。意図がどうであれ、ほかの人の顔、身体、または音声を対象に性的に編集、合成加工して虚偽の映像物を流布／再流布することも法律で処罰される犯罪です。

デジタル性犯罪に対する対応及び処罰

デジタル性犯罪は重大な犯罪です。被害を受けたら、警察または関連機関に必ず通報してください。

特に流布に関連して被害を受けた場合は被害届だけでなく、削除支援専門機関に削除を要請することもできます。

※ 通報

- サイバー警察庁 112
- 放送通信審議委員会 1377

※ 相談及び不法撮影物削除支援

- 女性緊急電話 1366
- デジタル性犯罪被害者支援センター
02-735-8994



7章

サポートを受ける

サポートを受ける

性暴力を目撃または経験した場合は、大学当局または警察に通報することができます。犯罪被害届を通して被害者はサポートを受けることができ、更なる被害を防ぐことができます。

大学のサポートを受ける

大学からサポートを受けることもできます。受けられるサポートは大学によって異なりますが、加害者が同じ学校の所属（学生、教授、助手、教職員など）の場合は被害を通報することで、加害者との分離措置を受けることができ、被害者の心理カウンセリングなど様々なサポートを受けることができます。

※ 留学生も大学の一員であるため、大学から適切なサポートを受ける権利があります。積極的に要請してください。



学校外：司法当局と政府サービス

韓国で起こった犯罪は、加害者及び被害者の国籍とは関係なく通報することができます。

112 (警察、緊急時)

犯罪被害または犯罪を目撃した事実を通報すると、警察が出動します。
受話器に“トンヨク（통역）”と言うと、通訳サービスが提供されます。

1366 (女性緊急電話) http://www.mogef.go.kr/cc/wcc/cc_wcc_f001.do

性暴力などによる緊急の救助・保護または相談を必要とする人が全国どこからいつでも被害相談できるように、24時間体制で被害者の人権を保護します。





オンライン：デジタル性犯罪被害者の場合

デジタル性犯罪の疑いがある場合は被害を通報し、写真や動画の削除を要請しましょう。

デジタル性犯罪被害者支援センター (Digital Sex Crime Victim Support Center)

<https://d4u.stop.or.kr/>



韓国サイバー性暴力対応センター (Korea Cyber Sexual Violence Response Center)

<http://cyber-lion.com/>



